

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第40回部会）会議録

日時：令和4年11月10日（木）午後7時～午後8時30分
場所：東淀川区役所出張所3階多目的室

【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
(1) 情報提供
(2) 活動報告及び意見交換
(3) その他
- 4 その他
- 5 閉会

《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ (情報提供) 新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定について
- ・ (情報提供) 駐輪マナーアップキャンペーン（淡路駅周辺）
- ・ 活動報告

1. 開会

2. 部会長あいさつ

3. 議題

(1) 情報提供

新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定について

(事務局)

- ・ これまで部会でも度々報告をしていた「新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定について」、10月25日に閣議決定、10月28日に政令が交付され正式に位置づけられた。
- ・ 対象範囲は114haで東淀川区では西淡路地域と啓発地域の一部が含まれている。都市再生緊急整備地域に指定されたからといってすぐに何かあるのではなく、今後のまちづくりのための環境が整ったと考えて貰いたい。

駐輪マナーアップキャンペーン（淡路駅周辺）について

(事務局)

- ・ 淡路・東淡路地域活動協議会、東淡路・淡路本町商店街等に参加いただき、令和3年11月に自転車対策協議会が設立された。今年度は2回協議会が実施されており、啓発活動や子ども向けの自転車教室の実施が予定されている。

質疑応答

(部会員)

- ・ 「新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域」の指定と合わせて、資料の掲載等はされているのか。

(事務局)

- ・ 内閣府HPにて区域図と区域内での整備方針、予定プロジェクトの一覧等の資料が公開されている。整備

方針は具体的なものではなく、指定を経てからの協議会にて議論がされていくものだと捉えている。

- ・これまで府市で検討協議会が開かれ、検討の履歴についてもHPにアップされている。

(部会員)

- ・子ども自転車教室は地域が主催となって行われているのか。また、指導は地域で行うのか。

(事務局)

- ・淡路駅周辺自転車対策協議会が主催となっており、小学校や地活協に協力頂き実施している。指導等は自転車に関する教育を専門としている団体に依頼をしている。
- ・対策協議会で大人だけでなく子どもの頃から指導・啓発するべきだとの意見があり実施するに至った。

(2) 活動報告及び意見交換

【地域の活動状況】

東淡路・柴島地域

- ・11月5日に地域交流祭りを開催した。例年は地域夏祭りとして小学校校庭を借りて8月に開催していたが、この2年はコロナの影響で開催できず今年の夏も開催を断念していたが、時期のスライドやキッチンカーによる飲食物の提供等の工夫を行い、開催することができた。

淡路地域

- ・東淡路商店街のハロウィンイベントでは久しぶりのイベントだった事もあり商店街が参加者で溢れかえっていた。人数制限ができるスペースでのイベントの開催等安全面も考慮する必要があるように感じた。
- ・須賀の森のイベントも小学校主体の夏のイベントを秋にスライドして開催になった。イベントの参加者が予想より多く、商品が売り切れになったお店が多かったようである。
- ・老人憩の家の建て替えが進められているので、また情報提供をしたいと思う。

東淡路・柴島地域

- ・柴島神社で例年通りに7月15日にお祭りを開催したら、他の地域でやっていない事もあり人が溢れかえっていた。一方、10月15日のお祭りは参加者が少なかった。
- ・ふれあい喫茶を振興町会単位では一部再開をした。
- ・中学校では2、3年イベントが開催できなかった事でイベントの引継ぎ等が問題になりそうである。
- ・2年ぶりにイベントが開催できた半面、またコロナの感染者が増えてきているのが不安である。

新庄地域

- ・10月1日に赤い羽根募金を地域で初めて実施した。その後清掃活動を実施した。
- ・10月15日、16日には青パトの講習会を実施した。
- ・10月16日には第2グラウンドで小学校の運動会があった。14基テントが設置されており、その内10基は地活協が寄付している。
- ・11月6日には第2グラウンドでグラウンドゴルフ大会と防災訓練があった。第2グラウンドのイベントは地域へのお披露目会の意味でも開催した。第2グラウンドは今後、防災拠点として活用したいと考えている。
- ・11月20日には子ども向けの野外活動を実施したが、コロナ禍でイベントが3年空いたりしたことが原因

なのか、参加者が少なかった。動員を掛ければある程度集めることはできたが、実際のニーズが知れたと思っている。

啓発地域

- ・お祭り等の大きなイベントは無かったように思う。定例の事業は開催している。

西淡路地域

- ・イベントの参加者がとても多く安全面の配慮が必要だなと感じた。
- ・新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定について、ワークショップを行った。地域住民の意見を聞いて欲しいという声が多かった。
- ・西淡路小学校跡地活用について、教育関係の機関や地域住民に対してアンケートが行われていると聞いている。また、調査結果が分かり次第報告したいと思う。
- ・11月22日にイオンスタイル東淀川がオープンする予定で、先週には周辺地域向けの防災訓練が実施されたと聞いている。

【阪急電鉄京都線・千里線立体連続交差事業について】

(部会長)

- ・阪急の連続立体交差事業も進んできており、下新庄地域ではワークショップをさせていただきましたし、啓発地域や東淡路・柴島地域とも相談をしている。下新庄地域のワークショップの話が柴島地域の方に伝わり、非常に関心を得ているとも聞いている。

(部会員)

- ・柴島地域はスーパー等の買い物ができるお店も少なく、病院も無くなり、色々困る場面が多いと思う。

(久教授)

- ・柴島地域は淀川と浄水場に囲まれているので、商圈が狭いというネックがどうしてもある。

(部会長)

- ・柴島地域は高架下の活用について、特に高校の生徒と教師の方の関心が高いと聞いている。

久教授のアドバイス要旨

- ・ある校区で井戸端会議をやっていて、普段は100人～200人程度いる参加者が動員を掛けなかったら参加3人だったことがあり、実際のニーズが分かったという事例もある。
- ・キッチンカーの話題が出ていたが、ある地域のイベントではイベントの主催者の友達が始めたキッチンカーを呼んだという事例がある。この事例のように、地域の方が商業に関わる事で地域の中でお金が回ればいいなと思う。
- ・東淀川区で実施する場合は東淀川区近辺の業者や地域内でこれから始めたいという人の応援の場面、起業支援として活用してネットワークができれば良いと思う。

4. その他

- ・次回の部会は令和5年1月12日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

5. 閉会

以上